



「実は初セッションのモデレータ」

氏名： 並木 正典

SNS： ひみつ

所属： 川崎の Sier

分野： エンプラ

■ 自己紹介

Sier で主に製造業系の業務に関連するシステムの開発を担当しています。

最近、大きめのプロジェクトで多数の開発者が使用するツールの整備や、進め方のフォローに飛び回る日々です。

■ 私と WACATE

WACATE には第 1 回からしばらくは参加者として、途中から実行委員として参加しています。（トータルでは 10 数回です）

WACATE で私が出たものは何だろう？って、10 周年ということで考えてみました。

- 実際に手を動かした経験 → 仕事でも実際に手を動かして深く考えるようになった
- 他人がどう考えたかを知る → 仕事でも自分からの質問が広く・深くなった
- 知り合いが増えた → いろいろな勉強会にも参加するきっかけとなった

■ セッション

仕事で 1 週間、1 か月、プロジェクトなどの区切りのとき、自分の進め方は納得いくものなのかふりかえります。反省することは多いのですが、その中でも進めている中で「不足が多くて想定作業が膨らんでしまった」があります。

もっと多くのことを考えないといけなかった （分散）

余分なことが多く整理しきれていなかった （集中）

分散と集中を意識して進めていけば、“よりよい仕事ができたくも”とよく思い返します。

今回、私は組み合わせテストの 1 つである直交表をとりあげたセッションのモデレータです。組み合わせって「たくさんのことがある」「すべてができないのでどうするか」があると思います。

上記のような、自分の経験と組み合わせテストのことを考え・悩みながら今セッション資料を作成中です。

人前での発表する経験がこの歳なのに少ないこともあり、苦戦中です。

まだ結果が出せていない、そんな状態ですがポジションペーパーを書いてみました。

それでは、当日お会いしましょう。